



こども明日花 project

# News Letter



## 明日花学生ボランティア4年生が卒業しました

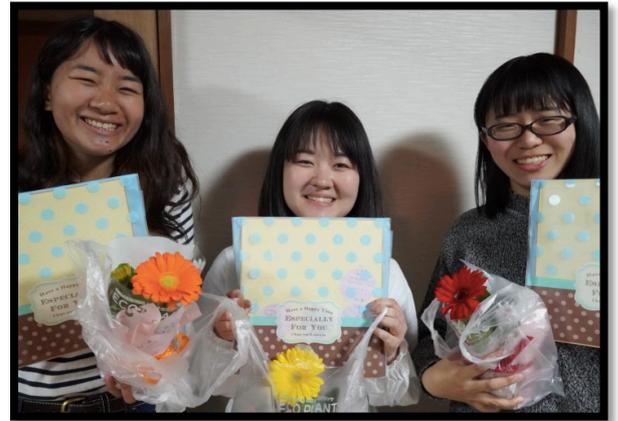
3月で大学を卒業する学生ボランティアさんに感謝の気持ちを伝えるために、なのはなクラブのこどもたちと小さな卒業式を行いました。

子どもたちからメッセージカードとお花を渡し、新しい門出をお祝いしました。

中にはこども明日花プロジェクトの設立当初からボランティアをしている学生もあり、嬉しいような寂しいような卒業式でした。

明日花で経験したこと、感じたことをこれからの人生で活かしてもらえたら、、、そしてまた元気な笑顔を見せに明日花に寄ってください。

ボン・ボヤージュ！



## 子どもの貧困対策 マッチングフォーラムin周南市



3月14日（木）に周南市で、中国地方では初の開催の「子どもの貧困対策マッチングフォーラム」が行なわれました。

パネルディスカッションでは、代表の児玉頼幸も登壇し、県内で活動している企業や団体と共に意見交換を行いました。

子どもの未来応援企業として明日花を支援していただいている(株)池田建設の池田直人社長にもご登壇いただき、「将来の日本を担う子どもたちをしっかりと支えていかなければいけない。明日花プロジェクトの活動に期待している」とお話くださいました。最後に、子どもたちへの支援を充実させるため、お互いの機関がさらに連携して取り組んでいくことを誓い合いました。

## あすはなカレッジスタディツアー



あすはなカレッジ参加学生が、スタディツアーとして先進的な取組を行っている滋賀県のNPO法人を2カ所訪問しました。

NPO法人こどもソーシャルワークセンター（幸重忠孝理事長）では夕方の居場所に参加。子どもと銭湯やご飯を共にし、より少人数の居場所事業について学びました。2カ所目のNPO法人わっか（振角大祐代表理事）では、活動にいたるまでの代表やスタッフの方の想いを聞き、お互いの悩みや想いを情報交換しました。

どちらの場所も子どもたちにとってはかけがいのない場所であり、ツアーで学んだことを今後の明日花の活動に活かすための話し合いを日々重ねています。

# 明日花アルバム

1月～4月の明日花の活動です



こどもの未来応援企業としてご支援いただいている、(株)池田建設の新入社員の皆さんがボランティア体験に来られました。



なのはなクラブでは近くの河川敷で花見を兼ねたBBQをしました。桜が満開で、皆の笑顔も満開でした。



小郡みんな食堂も元気に開催しています。今回は豚汁をつくりました。



節分の日に鬼が現れました。子どもたちにたくさんの福が訪れますように！



夕食後に子どもたちがお皿洗いを手伝ってくれるようになりました。



「えがお食堂よしき」が始まりました。吉敷地区のまちづくり協議会が中心となり開催していきます。第一回には老若男女多くの地域の方に参加いただきました。



一人親支援のためのシングルカフェvol.6を開催しました。今回は、6組のママ親子、2組のパパ親子でまったりとのんびりする時間でした。

教えて!!

# 明日花ボランティア!

明日花調理ボランティア  
瀬川由生子様

こども明日花プロジェクトの寄附付き自動販売機を置いていただいている山口カトリック教会サビエル記念聖堂。そこで精力的に活動しておられる瀬川由生子様は、なのはなクラブの夕食を担当する明日花の調理ボランティアさんでもあります。いつも子どもたちに慕われている瀬川さんに、明日花でのボランティア体験についてお聞きしました。

## 1. 明日花に関わるきっかけは?

ちょうど幼稚園の給食の仕事を辞める時期に、こども明日花プロジェクトの調理ボランティアをやってみないかとお声をかけていただきました。もともと子ども好きだったところもあり、活動に興味はありましたが、あれよあれよと言う間に調理リーダーになることになり、気づいたら子どもたちのご飯を定期的につくっていました。(笑)

## 2. ボランティアをする中で感じたことなどはありますか?

最初はかなり荒い言葉遣いや無茶なことをして大人の気をひこうとする子どもたちの姿にびっくりする場面もありましたが、子ども一人一人を見ていくととても素直で可愛い子どもたちだと感じました。「ダメ!」と威圧的に叱るのではなく、「ストップ!」と行って、行動を一時停止して話をよく聴く、というスタッフさんの姿にも関心しました。

中高生になると、中にはガツンと叱ってほしい子どももいて、その辺のバランスが難しいですが、本気でその子を想っていれば、どちらにしても伝わるのではないかと思います。

## 3. 調理をする上で心がけていることなどはありますか?

フードバンクを通じ丸久さんから頂いたお野菜などは、せっかくの頂き物なので、なるべく無駄なく使うように心がけています。また、季節のお野菜や行事にちなんだメニューなども心がけています。日本の食文化も大事にしていて、子どもは食べないだろうな!と思うメニューでもあえて出したりもします。意外に「おいしい」と言って食べてくれたりするんですよ。

## 4. これからの活動に期待することは?

教会関係や前職の仲間でお野菜の寄付を申し出てくれる人や、ボランティアを希望してくれる人もいます。そういったコミュニティの輪がもっと広がっていったらいいな、と思います。また、なのはなの調理ボランティアだけでなく、さくらさく学習会の調理ボランティアさんとも交流して、情報交換ができればいいな、と思います。



## こども明日花プロジェクトのボランティアを募集しています!

こども明日花プロジェクトでは、学習支援、居場所づくり、こども食堂、ファンドレイジングなど、わたしたちと一緒に活動してくれるボランティアを随時募集しています。子どもに関心のある方でしたら、経験や資格は問いません。ボランティアを通じて、共に子どもたちの未来を支えませんか。



## 「赤い羽根テーマ募金」へのご協力ありがとうございました！

寄付総額は **27件 1,411,860円**となりました。

みなさまのご協力に心から感謝いたします。ご寄付いただいた募金は全額こども明日花プロジェクトの活動に大切にに使わせていただきます。今後ともどうぞよろしくお願いいたします！



## 山口こども応援ミーティング2019を開催します

支援を必要とする子どもや親たちを見守り支える地域をつくるため、関係者が一堂に会して、**学び、つながり、行動すること**を目指して、「山口こども応援ミーティング2019」を開催します。「山口の子どもたちの未来を応援するための作戦会議（ミーティング）」です。詳しくは同封のチラシをごらんください。

日時: 5月12日(日) 10:00~16:00

場所: 山口県立大学北キャンパスF館

〔午前〕基調講演 湯浅 誠氏

〔午後〕分科会

第1セッション〈事業別〉

- ①学習支援、子どもの居場所づくり
- ②こども食堂
- ③フードバンク

第2セッション〈実施主体別〉

- ①自治体、教育機関
- ②企業、民間団体（NPOなど）
- ③社会福祉法人、社会福祉協議会



湯浅 誠氏

基調講演

「1ミリでも進める  
子どもの貧困対策」

湯浅 誠氏

社会活動家、東京大学特任教授  
NPO法人全国こども食堂支援センター  
むすびえ 理事長



申し込みはQRコードを  
ダウンロード！



## 「キリン・地域のちから応援事業」助成金贈呈式がありました

公益財団法人キリン福祉財団様の平成31年度「キリン・地域のちから応援事業」助成金贈呈式が4月23日13時から山口市市民活動支援センターさぼらんででありました。

こども明日花プロジェクトではこの助成金により、地元の大学と連携し学生を中心に運営していく夕方の居場所づくり（トワイライト事業）を新たに始める予定です。

数ある応募団体より選考頂き、心から感謝申し上げます。



発行元

こども明日花プロジェクト（認定NPO法人 山口せわやきネットワーク）

〒753-0054 山口市富田原町4-45 なのはなハウス

TEL：070-7562-1187 FAX：083-901-1165

ホームページ：http://asuhana.org/

Eメール：info@asuhana.org



子供の未来応援国民運動

子供の未来応援基金の支援を受け実施しています